



昨年の6/4の953円の戻り高値から急落トレンド(A)となって10/28の290円でいったん底打ちとなりました。ここから戻りにはいって今年の1/7に442円まで上昇しましたが、ゆるやかな角度の下降トレンド(B)に移行し、この中で2/23の204円で2番底となりました。この水準でもみあったあとゆるやかな上昇トレンド(C)を形成し、5/12に409円の高値をつけたあと7/13に318円まで下落し、再上昇となって9/1に496円の年初来高値を更新しました。この高値圏でもみあったあと、昨日(9/15)464円で短期の売転換出現となりました。上昇トレンドの中の売転換ですのでカラ売りは496円を終値で上にぬくと損切り前提となります。待ち伏せ買いポイントは、7/13の318円から9/1の496円までの上昇幅の1/3押し(437円)と1/2押し(407円)水準となります。原発関連で傘下に原子力の米国WH社を持ち、又、中部電力の大型太陽光発電プラント受注。取組み0.82倍。

今日の日経平均は、アメリカ株高と為替の落ち着きから買い先行で始まり、9月の配当権利落ちを9/24に控えて配当・優待を期待した買いで後場寄り後10394円まで上昇する場面がありましたが、すぐに上げ幅を縮め大引けは53円の10270円、トピックスは1Pの931Pでした。今週は配当取りや為替動向、NYダウに左右されやすい展開となります。大型連休前は売りも買いも休むのが基本です。